

中国平安保険・塩野義製薬
共同記者会見



中国平安保険との戦略的パートナーシップと 今後の展望

2020年3月30日
塩野義製薬株式会社
代表取締役社長 手代木 功



中国平安保険とシオノギとの 長期戦略的パートナーシップの構築に向けた 資本業務提携に関する基本合意

中国平安
PING AN
金融・科技



 SHIONOGI

今後、両社で新たに設立予定の合弁会社を中心に
中国（アジア）における協業を推進

2020年に向けた基本戦略

社会課題の解決



イノベーションと
医療経済性
のバランス

創薬型製薬企業として社会とともに成長し続ける



2020年以降のありたい姿と、
その実現に向けた成長戦略をゼロベースで検討

認識すべき重要な環境変化

デジタルネイティブ、SDGsネイティブ時代の到来

① IT/AI技術の革新などの急速な進歩

- IoTの導入による分析可能なヘルスケアデータの増大
- 様々なデータの利活用、共有体制の整備

② 世界人口の増加、高中所得国における少子高齢化の進行

- 医療保険財政の悪化

③ 気候変動に伴う疾病構造の変化、ヘルスケアに対するニーズの変化

- 医療ニーズの拡大・細分化

様々な環境変化やニーズの変遷に目を向け、
社会に最善のソリューションを提供し続けることが必要

ヘルスケア事業の定義が変化

従来の事業ポジショニング
- 創薬型製薬企業として -

メーカー視点の製品カテゴリー



2020年以降における事業ポジショニング
- 患者視点のソリューション -

Healthcare as a Service (HaaS)



急速に変化する時代において、
従来の製薬産業という既成概念からの脱却が必要

製薬企業が単独で成長し続けることは困難



これからのシオノギの成長戦略

自社の創薬型製薬企業としての“強み”を磨き続け、
異なる強みを持つ他社・他産業から選ばれる存在となり、
ヘルスケア領域の新たなプラットフォームを構築する



2020年以降の持続的な成長を実現するために

『ヘルスケアの未来』を協創するパートナー



次の10年間に、
もっとも大きな市場成長が見込まれる
“中国ならびにアジアでの事業展開”の具体化



中国平安保険とは

中国平安
PING AN

金融・科技

中国最大の総合保険グループ*

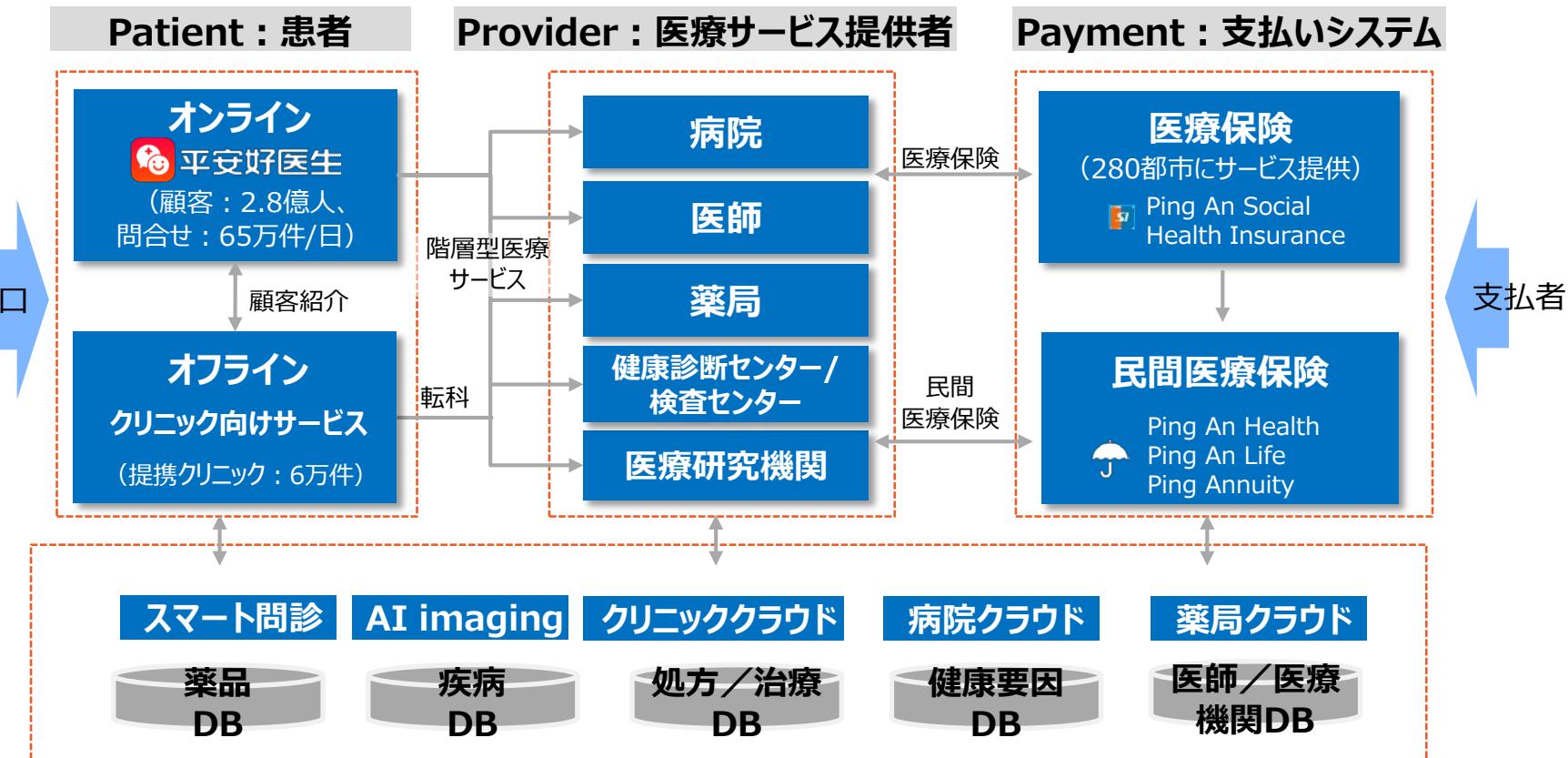
- 祖業である保険をコアにしながら総合金融業を展開、その後、娯楽・移動・住居にも進出、近年では特にヘルスケア事業に注力
- 他社に先駆けてデジタル化に成功し、顧客数を拡大
- 事業基盤、金融資産、独自IT/AIテクノロジーをもとに、ヘルスケアプラットフォームを構築

*2019年度実績 売上高: 約20兆円 顧客数: 2億人

中国平安保険のヘルスケアプラットフォーム



患者、医者、病院の負担を軽減するために、患者、医療サービス提供及び支払のためのヘルスケアプラットフォームを構築し、サービスを提供。



本提携の内容

合弁会社 (JV) の設立

長期的かつ強固な戦略的パートナーシップ構築を目的とした資本提携



金融・科技

JVに必要な
技術、資産、権利

出資比率：49%

・株式対価：335億円
 • 株数：6,356,000株
 • 発行済み株式(自己株除)比率：2%



JVに必要な
技術、資産、権利

出資比率：51%

イコールパートナーシップ

新JV

予定する事業内容

- ①データドリブン*の創薬・開発
- ②AIテクノロジーによる製造・品質管理体制の構築
- ③O2O**を活用した、販売・流通プラットフォームの構築

* リアルワールドデータ、マーケティングデータ、WEB解析データなど、データに基づいて判断・アクションすること

** Online to Offline: オンラインであるWEBとオフラインである実店舗とを組み合わせて、マーケティング・販売活動

新JV設立に向けた今後の予定

- 新JV設立(合弁契約書の締結) : 2020年7月末までを目標
- 第三者割当による自己株式の処分期間 :
2020年7月1日～7月31日 (予定)

新JVの構造および事業の詳細に関する内容、
ならびに2020年度以降の業績に及ぼす影響等は、
新JV設立時に改めて公表



本提携により目指す姿

中国平安保険の提供する最先端技術を活用したヘルスケアサービスに、
シオノギの強みである治療ソリューションを融合

中国平安
PING AN

金融・科技



SHIONOGI

予防

診断

治療
ソリューション

治療インフラ

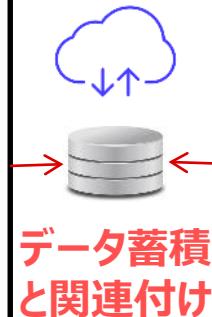
予後

両社の強みを融合し、ヘルスケアプロバイダーとして、
新たな価値を社会へ提供

(パンデミック時にも対応可能なトータルヘルスケアを実現)

生活データ

- 行動パターン
- 属性情報
- 睡眠
- 遺伝子
- 音声
- 活動量



精密診断と治療データ

fMRIや脳波など



治療薬Aが有効

治療薬Bが有効

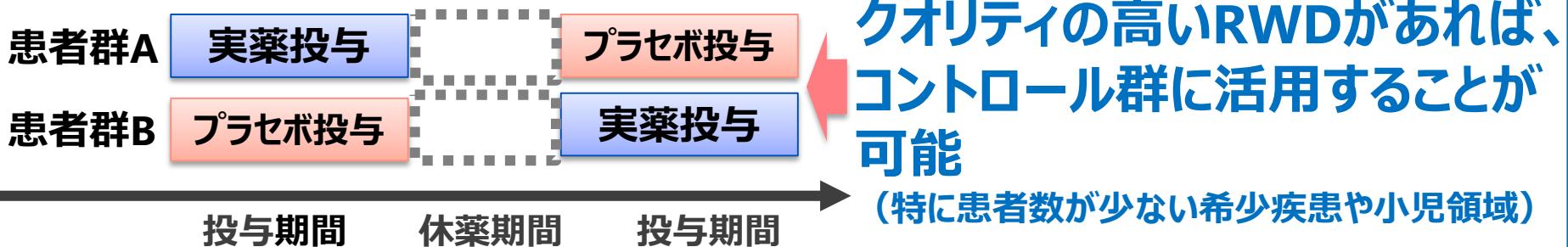
デジタルデバイスCが有効

両社の保有する強み

- ✓ シオノギの保有するパイプライン
- ✓ 医薬品開発ノウハウや、疾患理解
- ✓ 平安保険が保有するヘルスケアサービス
- ✓ ITプラットフォーム（データ取得網、データ解析技術）

生活データから診断データ、治療法の効果までを関連付けることで、
特定疾患での層別化治療プラットフォームの構築を目指す

医薬品のダブルブラインド試験（クロスオーバー）



現状の課題

- プラセボは患者にとってベネフィットはない
- 必要な試験数が多くなりコスト・期間を要する

臨床試験を減らすことで開発期間を短縮し、
適正価格の医薬品を早く患者に届けることが可能となる

『ヘルスケアの未来』を創造する

AIを駆使した
ヘルスケアプラットフォーム

中国平安
PING AN

金融・科技

- ・顧客基盤に基づくヘルスケアデータ
- ・最新のIT/AIテクノロジー
- ・オンライン診療インフラ



創薬型製薬企業

 SHIONOGI

- ・画期的新薬を生み出す自社創薬力
- ・高いR&D生産性と蓄積されたノウハウ
- ・Patient Firstの創薬戦略

創薬型製薬企業モデルを進化・発展させた新しいモデルの構築



社会・患者目線でのヘルスケアソリューションを提供して、
すべての人々の健康に貢献し、ヘルスケアの未来を創造する